

第3章

住民意向の把握

3-1 住民意識調査の結果

第3章 住民意向の把握

3-1 住民意識調査の結果

(1) 調査概要

都市計画マスタープランの改定にあたり、将来のまちづくりや土地利用に関する住民意向を把握し、計画に反映することを目的に「住民意識調査」を実施しました。

<住民意識調査の実施概要>

調査対象	町民 2,000 人（20 歳以上を無作為抽出）
調査方法	郵送（配布・回収）によるアンケート調査
調査期間	令和元年（2019 年）8 月 9 日（金）～8 月 31 日（土）
回収率	40.9%（817/2,000）
調査項目	Ⅰ. 属性 Ⅱ. まちづくりの満足度・重要度について Ⅲ. まちの将来像について Ⅳ. 将来の土地利用・都市施設について Ⅴ. コンパクトなまちづくりについて Ⅵ. 知多半島中央部に位置する町の立地特性を活かしたまちづくりについて Ⅶ. まちづくりへの参加について Ⅷ. 自由意見

<住民意識(アンケート)調査票(抜粋)>

「阿久比町都市計画マスタープラン」
策定のためのアンケート調査
ご協力のお願い

日ごろから町政に対し、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
現在、町では、令和元年度から2ヵ年をかけて、従来の土地利用や道路・公園のあり方など、都市計画に関する基本的な方針を示す「阿久比町都市計画マスタープラン」の策定を進めています。
現在の都市計画マスタープランは、策定から10年以上が経過しており、策定当時と比べ、本町を取り巻く社会経済情勢や都市環境、町民の生活スタイル等は大きく変化してきました。
そこで、新たな「阿久比町都市計画マスタープラン」の策定にあたり、町民の皆さまが考える将来のまちづくりや土地利用のあり方についてご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。
お忙しいところ、誠に恐縮ですが、阿久比町のより良いまちづくりの実現に向けて、本調査にご協力を賜りますようお願いいたします。
なお、調査結果は統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することはありません。

令和元年8月
阿久比町長 竹内 啓二

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、原則として、宛名のご本人にお願いいたします。
2. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ指定していますので、お間違えのないようお願いいたします。
○印は、番号を囲むようにつけてください。（例 ○）
3. ご記入いただいたアンケートは8月31日（土）までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。（切手は不要です。）
4. 本調査に関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願いします。
阿久比町 建設経済部 建設環境課 都市計画係 岡嶋、澤田
電 話：0569-48-1111 内線番号（1213・1214）

阿久比町都市計画マスタープラン アンケート調査票

I あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについて、あてはまる番号に○印をつけてください。

(1)あなたの性別 (1つに○)	1. 男性	2. 女性	
(2)あなたの年齢 (1つに○)	1. 20代 2. 30代 3. 40代	4. 50代 5. 60代 6. 70歳以上	
(3)あなたの家族構成 (1つに○)	1. ひとり暮らし（単身） 2. 夫婦のみ 3. 2世代世帯（親と子） 4. 3世代世帯（祖父母・親・子・孫） 5. その他（ ）		
(4)同居されている家族 （あてはまるものをすべてに○） ※(3)で3,4,5を選択した方のみご回答下さい	1. 3歳未満の乳幼児 2. 幼稚園児・保育園児 3. 小学生・中学生	4. 高校生 5. 大学生・専門学校生 6. 65歳以上の高齢者	
(5)あなたの居住地 (1つに○)	1. 横松 2. 萩 3. 宮津 4. 宮津園地 5. 宮津山田 6. 板山 7. 福住 8. 福住園高台	9. 白沢 10. 白沢台 11. 高根台 12. 華木 13. 坂部 14. 卯之山 15. 阿久比園地 16. 阿久比	17. 棕岡 18. 矢口 19. 高岡 20. 楯 21. 大古根 22. メイツ賢ヶ丘 23. 隠なたの丘

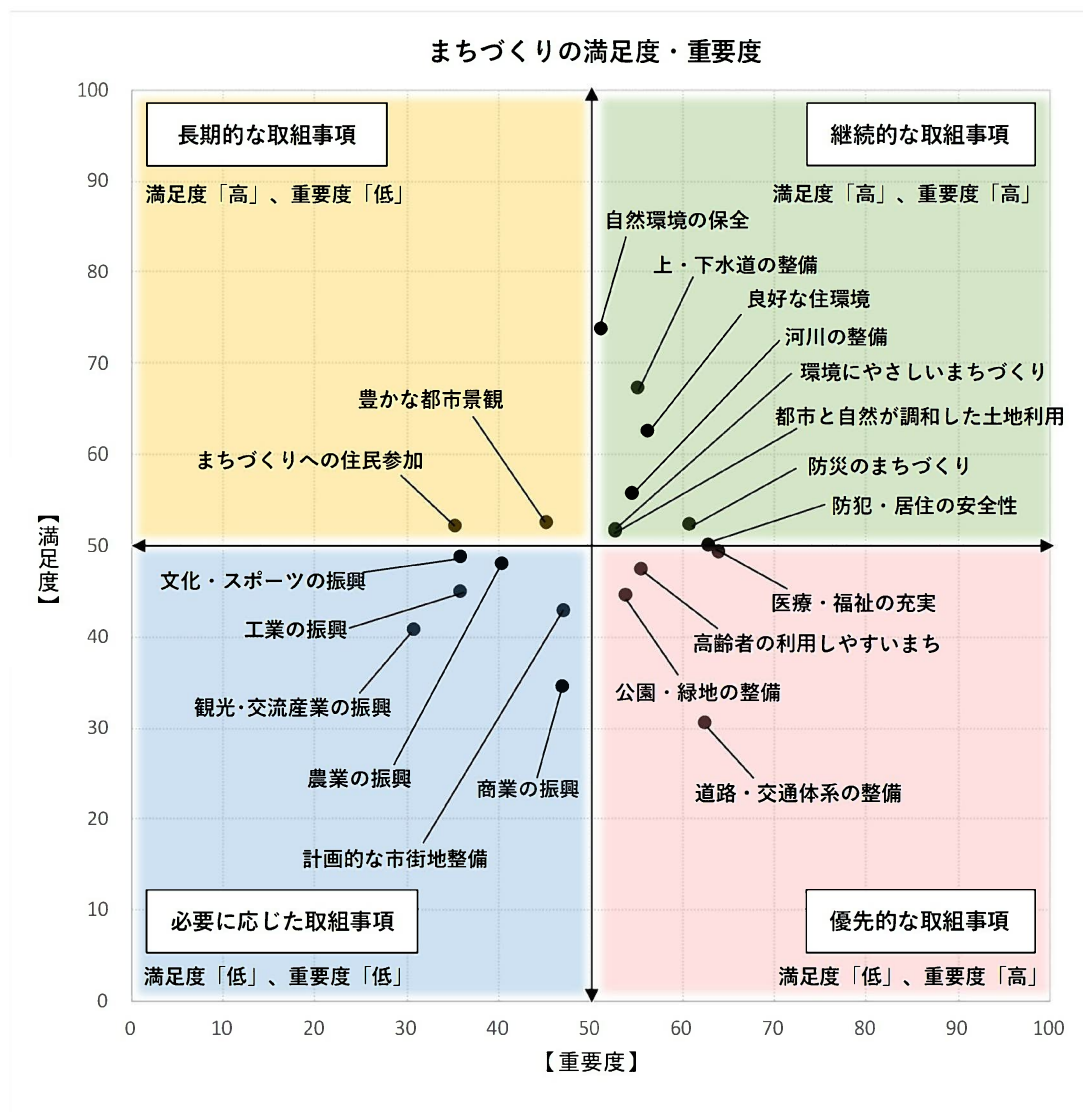
(2)調査結果(抜粋)

「住民意識調査」の結果は、次のとおりです。

◆『まちづくりに対する満足度・重要度について』

これまでのまちづくりに対する満足度と今後期待するもの（重要度）として、以下の事項があげられます。

- ◇ 『優先的な取組事項』：都市基盤や生活環境に対する取り組み
- ◇ 『継続的な取組事項』：自然環境や防災・防犯に対する取り組み
- ◇ 『必要に応じた取組事項』：産業振興に対する取り組み
- ◇ 『長期的な取組事項』：景観や協働に対する取り組み

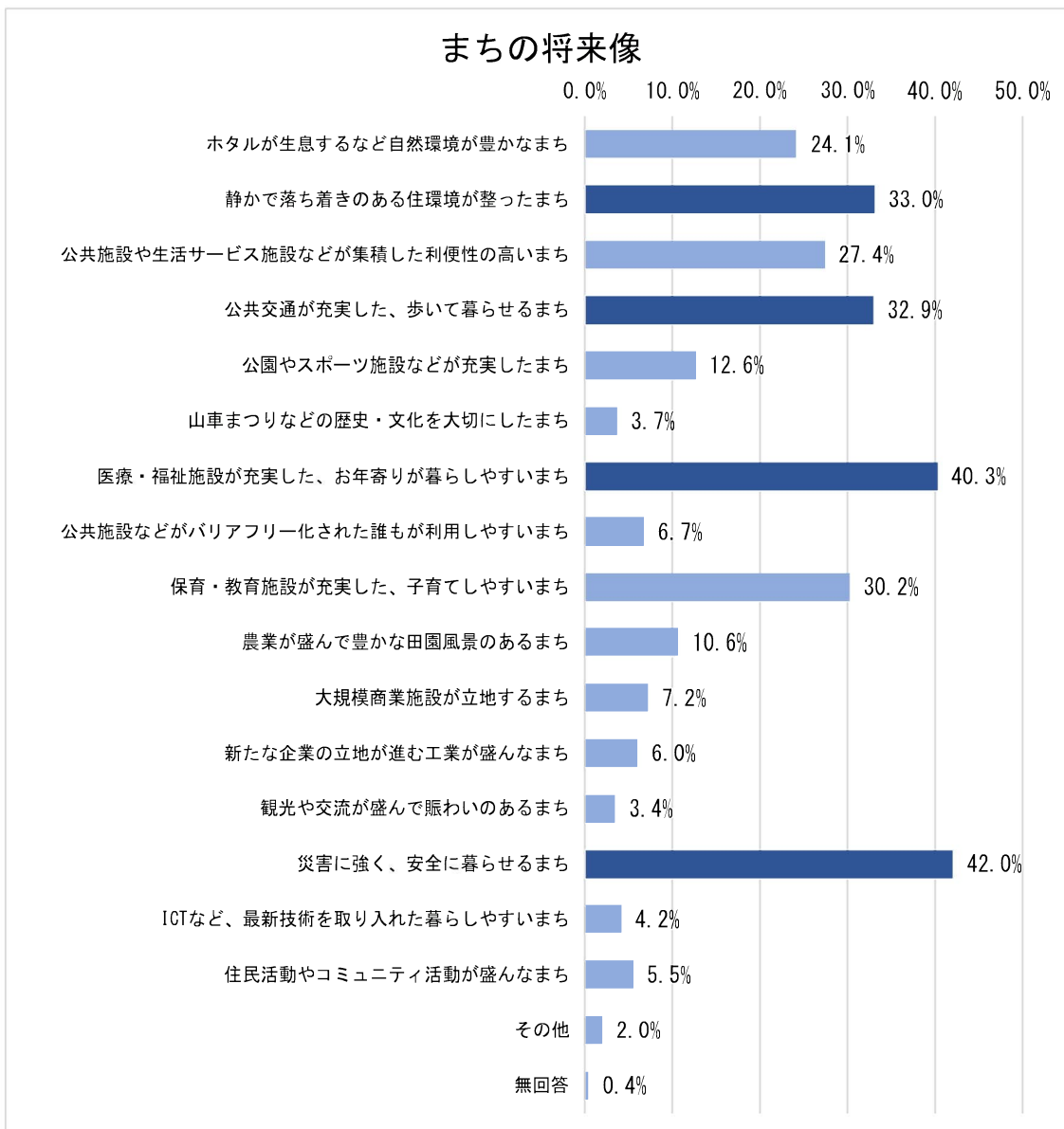


※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したもの。
 「満足」5点、「どちらかといえば満足」4点、「どちらともいえない」3点、「どちらかといえば不満」2点、「不満」1点とし、その合計値を回答者数で除したものを平均点とする。

◆まちの将来像について

これからのまちの将来像として、以下の事項が求められています。

- ◇ 「災害に強く安全に暮らせるまち」
- ◇ 「医療・福祉施設が充実したお年寄りが暮らしやすいまち」
- ◇ 「静かで落ち着いたある住環境が整ったまち」
- ◇ 「公共交通が充実した、歩いて暮らせるまち」



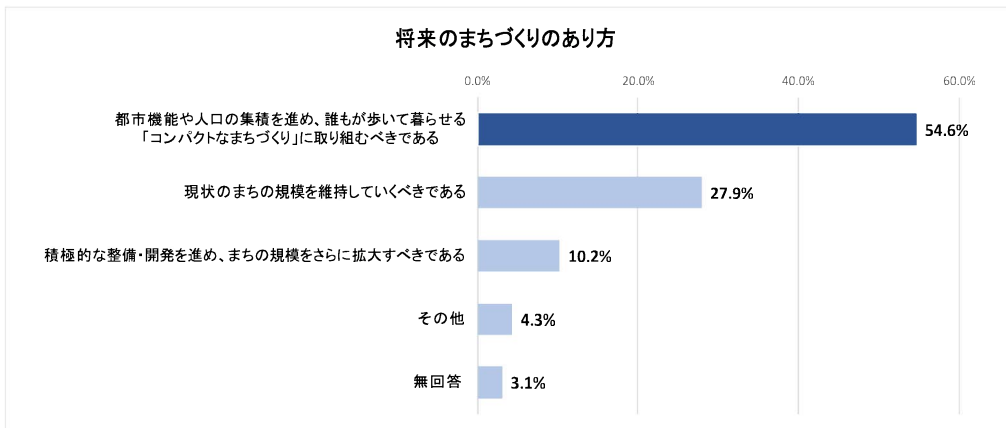
◆将来の土地利用・都市施設について

将来の土地利用・都市施設について、それぞれ以下の取り組みが求められています。

「住宅地」 における取組	【1位】既存住宅地の防災安全性向上（45.0%）
	【2位】既存住宅地の居住環境の維持・改善（40.1%）
	【3位】空家などの解消・有効利用の推進（31.7%）
「商業振興」 における取組	【1位】居住地周辺の身近な商業施設の充実（38.9%）
	【2位】車での利用に便利な幹線道路沿いの商業施設の充実（38.8%）
	【3位】名鉄河和線阿久比駅や阿久比町役場周辺の商業の活性化（38.6%）
「工業振興」 における取組	【1位】新たな工業用地の創出（49.1%）
	【2位】既存企業の育成・振興（31.0%）
	【3位】既存工業団地の操業環境の維持・保全（29.7%）
「農業振興」 における取組	【1位】担い手育成や民間参入による耕作放棄地の解消（41.2%）
	【2位】農産物のブランド化など農業活性化に向けた取り組みの推進（26.7%）
	【3位】食料生産や教育の場としての農地の維持・保全（24.5%）
「道路・交通」 における取組	【1位】安心して歩ける歩道の整備（53.1%）
	【2位】狭あい道路の拡幅など生活道路の整備・改善（38.8%）
	【3位】広域的な幹線道路の整備（21.4%）
「公園・緑地」 における取組	【1位】災害時の避難場所・活動拠点となる公園の整備（44.6%）
	【2位】子供が遊べる身近な公園の整備（41.7%）
	【3位】既存の公園・緑地の維持・管理（37.6%）
「河川・下水道」 における取組	【1位】災害に強い河川・水路の整備（45.4%）
	【2位】老朽化した下水道施設の計画的な改修（37.9%）
	【3位】自然豊かな水辺環境の保全（23.1%）
「景観」 における取組	【1位】阿久比川兩岸の優良な田園風景の保全（39.3%）
	【2位】良好な住宅地の景観の形成・向上（36.5%）
	【3位】名鉄河和線阿久比駅や阿久比町役場周辺の街並み・景観の形成（31.7%）
「防災対策」 における取組	【1位】災害時における一時避難場所や避難路の確保・整備（57.8%）
	【2位】道路や橋などの都市基盤施設の耐震化（35.0%）
	【3位】河川の氾濫・浸水対策（30.8%）

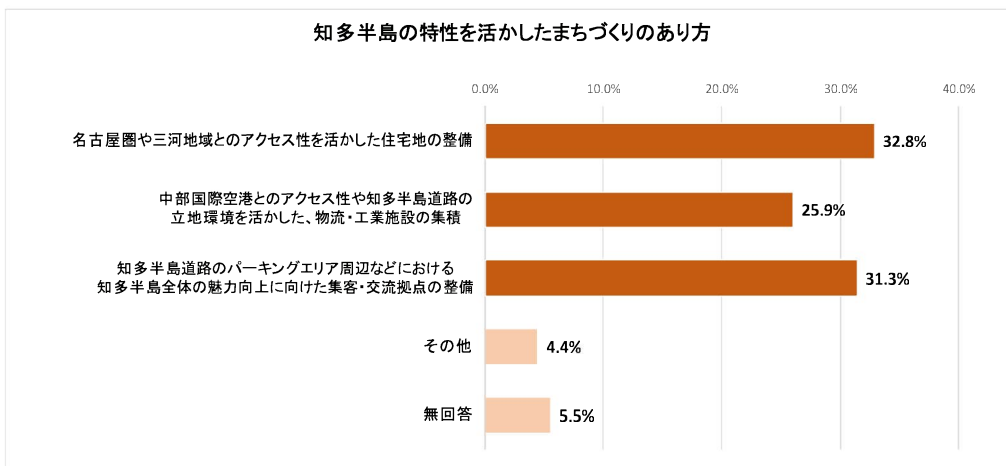
◆コンパクトなまちづくりについて

今後のまちづくりのあり方として、多くの住民が「コンパクトなまちづくり」を求めています。



◆町の立地特性を活かしたまちづくりについて

町の立地特性を活かしたまちづくりのあり方について、「住宅地の整備」、「集客・交流施設の整備」、「物流・工業施設の集積」それぞれ同程度の割合となっています。



◆住民のまちづくりへの参加について

以下の内容について、まちづくりへの参加意向が高くなっています。

- ◇ 自主防災や災害援助に関する活動
- ◇ まちづくりや地域活性化に関するイベント

